

キャラクター名  
御堂 修

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	FH	カヴァー	高校生
	パロール					
オプション			年齢	性別		男
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率		41 %
出自	義理の両親		経験	悲恋	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1		0			1	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	4		0			4	戦闘移動	13
社会	1		0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
不死者	P	N		
北条 詩織	P 純愛	N 悔悟		
セル・ファミ工	P 幸福感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
原初の虚アナザーセルフ	1	4d10+2	オート	至近	自身	自動	120	
効果: 使用回数制限のあるエフェクト一つを復活								
原初の黒	5	10	オート	特殊	特殊	自動	100↑	
効果: 鏡の盾 シナリオ一回ダメージ反射 Lv×20点								
死神の瞳	5	3	メジャー	視界	対決	単体		
効果: 次のダメージ+Lv+2D								
原初の紫	1	3	オート	至近	自身	自動		
効果: カバーリングエフェクト								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: メジャー打ち消し								
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲(選択)	自動		
効果: ダメージ-Lv×5								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

〇市の大鷹高等学校にこれから通う高校生  
「皆さんよろしくお願ひします。これから皆さんと共に勉強や学校行事を楽しんでいきたいと思っています。」  
オーヴァードでは無く一般人  
色んな人と楽しく仲良くしたいよね

幼少期に両親が死別。その後叔父夫婦に引き取られたが愛される事は無く、両親の遺産を使い込まれ、碌な目に会ってない幼少期を過ごしたが12歳の頃に愛情への渴望によりオーヴァードとして覚醒、その後FHに発見されFHに入る。そのまま気付けば訓練を受けその欲望を最も満たせそうなファミ工に所属する事になった。

ファミ工  
はみ出し者達が集まっていたFHセル。別に無意味に暴れまわる訳では無く、居場所の無かった者達が自分達の居場所を作る為に設立した。セルメンバー全員が家族や友人の様に接していた事が印象に残っている。俺にも、そうだな...兄や姉の様に慕っていた人もいたし、弟や妹の様に可愛がった奴もいた。義理の、いや、あんな連中しか知らなかった俺には初めて心休まる場所だったな。

北条 詩織  
恋人。優しい人だった。自分が初めて好きになった女性だった。その優しい眼差しも、優しい声色も、全部全部覚えている。  
同じファミ工のメンバーで自分より2つ年上。誰にでも優しく、ファミ工に所属している年少組からは姉の様に慕われていた。ファミ工で出会った頃は良く可愛がられていた為、自分も姉の様に感じていたが、何時しか女性として好きになっていた。自分から告白し玉砕したのは良い思い出だったなあ。その後何度も何度も告白し一年半前ようやくOKされた事を昨日の様に覚えている。自分が一番幸せだった時の記憶だな

紫藤 響  
ファミ工のメンバーには教えていた本名。両親が遺してくれた数少ない大切な物で愛着も会ったが、セルが壊滅し、詩織も死んだ今、もう二度と呼ばれる事は無